

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会調整会議
開 催 日 時	令和6年1月26日(金) 10時00分から11時20分まで
開 催 場 所	川島町役場2階 中会議室
議 事 等	議事(1) 第4回協議会について
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	
出席者	川島町 石島副町長 桶川市 堀口副市長 川島町 町民生活課 伊原課長 桶川市 環境経済部 環境対策推進課 矢代課長
事務局職員	ごみ処理施設整備推進室 大沢室長 〃 岡部主幹 〃 北原主査 〃 高柳主任 〃 鈴木主任
配布資料	1 次第 2 出席者名簿 3 (1) 第4回協議会について…会議資料一式

内容・概要

【開会】

石島副町長あいさつ

【会議の公開】

[事務局] (大沢室長)

- ・本日の会議を公開とすることに異議はないか。

[出席者意見等]

- ・異議なし。

※傍聴希望者 0名

【議事】

議事(1) 第4回協議会について

[事務局説明] (岡部主幹)

「協議第7号 ごみ処理基本計画及び施設整備基本構想案について」

- ・「協議第7号 参考資料1 川島町・桶川市 ごみ処理基本計画について」、
「協議第7号 参考資料2 川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会 新ごみ処理施設整備基本構想について」、
「協議第7号 参考資料3 ごみ処理基本計画及び施設整備基本構想の町民コメント(川島町)、パブリックコメント(桶川市)の実施について」に基づいて説明

[出席者意見等]

(堀口副市長) ごみ処理基本計画におけるごみ排出量は、ごみの減量化により将来に向けて排出量が少なくなるとの推計である。一人一日当たり生活系ごみ排出量の数値の変動が両市町で差があるが、どのように取り組んでいくのか。

(事務局) 桶川市はすでに減量化が進んでいることから、川島町では一人一日当たり生活系ごみ排出量が将来的に桶川市と同程度になるよう取り組むものである。

(堀口副市長) 参考資料2の施設整備基本構想「4. 敷地範囲・搬入路」において、地域からの意見があったと説明を受けたが、どのような意見があったのか。

(事務局) 地元連絡会議や地域への説明会では、ごみ処理施設が建設されることによる圧迫感の軽減対策として、「盛土は緩い勾配にしてほしい」などの意見、渋滞対策として、「敷地内で車が十分滞留できるよう配慮してほしい」などの意見を頂戴している。

(石島副町長) 頂戴した意見は、施設整備基本構想に記載されているのか。

(事務局) 施設整備基本構想「第5章 建設用地の検討」に、地域からの要望として記載している。

[事務局説明] (北原主査)

「協議第8号 新一部事務組合規約の項目について」

- ・「協議第8号 別紙 新一部事務組合規約の項目について」、
「協議第8号 参考資料 川島桶川資源循環組合規約(案)」に基づいて説明

[出席者意見等]

(堀口副市長) 新一部事務組合规約(案)については、規約協議5と規約協議7が決まれば、完成するということか。

(事務局) そのとおりである。

(堀口副市長) 経費の支弁の方法について、両市町の具体的な負担割合は、どの程度になるか。

事務局案の場合、運営費については、現時点で試算ができないと思うので、建設費について、両市町の具体的な負担割合を伺いたい。

(事務局) 建設費は、令和5年4月1日時点の人口で試算した結果、人口割80%、均等割20%の場合、川島町が約26%、桶川市が約74%である。

(堀口副市長) 用地費の負担割合は、建設費の負担割合に含まれるのか。

(事務局) 建設費に含まれている。

(石島副町長) 建設費について、標準財政規模を参考に考えられているが、基準財政需要額を参考にすることも考えられる。

(事務局) 基準財政需要額は、地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法によって算定した額であることから、維持管理費の負担割合算定の参考となるが、建設費の負担割合としてはあまりそぐわないものと認識している。

(石島副町長) 第4回協議会の協議事項について、事務局の説明及び資料のとおり諮ることに異議はないか。

(堀口副市長) 規約協議5と規約協議7については、一度持ち帰り市長と調整させていただく。

(石島副町長) その他について、異議はないか。

(出席者) 異議なし。

【その他】

[事務局報告]

- ・第5回川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会は、5月に開催予定のため、第5回川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会調整会議は、4月～5月頃を予定している。詳細な日程については、改めてお知らせする。

【閉会】

堀口副市長あいさつ